

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(国 語) 小委員会委員長

白 川 清 久

印

調査研究	1 審議の経過 (1) 審議の対象となった発行者及び数 ・東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の 5 者 (2) 調査研究の手順 ・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 5 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。
審議の経過	(3) 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、また、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるような内容が取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の程度・排列・分量等については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階に応じて系統的に組織されているか、また、内容の分量が領域等ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	2 審議経過の概要 (1) 東京書籍については、単元で付けたい力を明確にし、国語の学び方を身に付けることができるようにすることへの配慮という特色があり、優れている。 学校図書については、他者と学び合う態度を示す工夫をし、幼保や中学校とのつながりを意図した教材を設けることへの配慮という特色があり、優れている。 三省堂については、別冊によって発展的な学習を可能にし、図書館指導や情報活用への配慮という特色があり、優れている。 教育出版については、教材のめあてや学習のステップを明確にし、全学年を通して読書力を育成することへの配慮があり、優れている。 光村図書については、学年の発達に合わせた系統的な学習を可能にし、言語活動を明確にすることへの配慮があり、優れている。 (2) その他、教育出版と光村図書については、北海道にかかわりのある内容の豊富さなどの話題も出されていた。

国語の目標等について
【教科の目標】 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。
【学年・領域等の目標など】 [第 1 学年及び第 2 学年] (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。 (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 [第 3 学年及び第 4 学年] (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。 [第 5 学年及び第 6 学年] (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

【参考】

- 国語科については、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教育としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けること、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度を育てることに重点を置いて内容の改善を図る。

特に、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。

そのため、現行の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」からなる領域構成は維持しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す。また、現行の[言語事項]の内容のうち各領域の内容に関連の深いものについては、実際の言語活動において一層有機的にはたらくよう、それぞれの領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げるようにする。

また、[言語文化と国語の特質に関する事項]を設け、我が国の言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の役割や特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりするため

の内容を示す。

- 子どもたちの発達の段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けるべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。その際、小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を、中学校においては社会生活に必要な国語の能力の基礎を、高等学校においては社会人として必要な国語の能力の基礎をそれぞれ確実に育成するようにする。

- 古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。

漢字の指導については、実生活や他教科等の学習における使用や、読書活動の充実に資するため、確実な習得が図れるよう、指導を充実する。書写の指導については、実生活や学習場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る。

敬語の指導については、人間関係を円滑にし、日常の言語生活を豊かにするため、相手や場に応じた言葉遣いが適切にできるようにすることを重視する。言葉のきまりの指導については、系統的に指導するとともに、実際に文章を書いたり読んだりするときなどに役立つよう、指導の改善を図る。

読書の指導については、読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動を内容に位置付ける。教材については、我が国において継承されてきた言語文化に親しむことができるよう、長く読まれている古典や近代以降の作品などを、子どもたちの発達の段階に応じて取り上げるようにする。

- 標準授業時数

第1学年－306単位時間

第2学年－315単位時間

第3学年－245単位時間

第4学年－245単位時間

第5学年－175単位時間

第6学年－175単位時間

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語131、国語132 国語231、国語232 国語331、国語332 国語431、国語432 国語531 国語631	あたらしいこくご上、あたらしいこくご下 新しい国語二上、新しい国語二下 新しい国語三上、新しい国語三下 新しい国語四上、新しい国語四下 新しい国語五 新しい国語六
取扱内容 各学年の目標、内容等	○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 聞いたことを正しく伝える活動やおもちゃの作り方を説明する活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたりする。 第3,4学年～ 司会を決めてグループで話し合う活動やポスターを使って発表する活動を通して、相手や目的に応じて、分かったことや考えたことについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。 第5,6学年～ 自分の主張を明確にして計画に沿って話し合う活動や資料を効果的に活用して発表する活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことなどについての的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりする。 ○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 身の回りの生き物を見て気付いたことを友達に紹介する文章を書く活動や自分の知っている名人を友達に紹介する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。 第3,4学年～ 学校の行事の案内状を書く活動や学校やクラスで起きた出来事取材し学級新聞にまとめる活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相互の関係などに注意して書く。 第5,6学年～ 構成を工夫して物語を書く活動や6年間を振り返って自分の思いを伝える文章を書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。 ○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 乗り物の仕組みについて説明する本を読む活動や場面を選び人物の様子を思い浮かべて音読する活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりしながら読む。 第3,4学年～ 物語を読んで中心となる人物の気持ちを想像する活動や広告と説明書を読み比べる活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。 第5,6学年～ 新聞の複数の投書記事を読んで書き方を比べる活動や関連のある複数の本を読んで友達に推薦する活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話や神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりしておもしろいと思ったところを発表する活動や、昔から伝わる生活に役立つ言い回しを知り声に出して読む活動 第3,4学年～ リズムを感じ取りながら百人一首を音読してかるた遊びをする活動や、日常使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動 第5,6学年～ 「竹取物語」や「平家物語」などの文語調の文章を音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 教材末の「ことばの力」において、大事なことを落とさず聞いたり、順序を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第3,4学年～ 教材末の「言葉の力」において、筋道を立てて話したり、目的と形式を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第5,6学年～ 教材末の「言葉の力」において、資料を活用して説明したり、意見を書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識			

	・技能の習得を図る活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、遊び方を順序よく話す活動、第2学年で、おもちゃの作り方や遊び方を順序よく分かるように説明する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、司会の進行に沿ったグループでの話し合い活動、第4学年で、自分の役割を考えた学級での話し合い活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、資料から読み取った情報を活用して文章を書く活動、第6学年で、資料から読み取れる事実を基に自分の意見を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は312ページで、前回より約20パーセント増となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約22パーセント増となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は366ページで、前回より約20パーセント増となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は358ページで、前回より約18パーセント増となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は290ページで、前回より約1パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 学級の友達と身の回りの名人を紹介し合う活動（第2学年）や役割を決めて音読劇をする活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、年間を通して読書を促す教材や資料を設ける（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「てびき」の欄を設けて学び方を示したり（全学年）、「国語のノートの作り方」の欄を設けてノート作りの方法を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に、身に付けた力を他教科等の学習に活用することを促す『言葉の力』を活用しよう」を掲載する（第3～6学年）とともに第5学年及び第6学年を一冊の合本とし、児童自身が年間の学習を見通すことができるようにしたり、学年冒頭に「学習のロードマップ」を設けたりする（第2学年以上）など、使用上の便宜が図られている。
その他	

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語133、国語134 国語233、国語234 国語333、国語334 国語433、国語434 国語533、国語534 国語633、国語634	みんなと学ぶ小学校国語こくご二年上、みんなと学ぶ小学校国語こくご二年下 みんなと学ぶ小学校国語三年上、みんなと学ぶ小学校国語三年下 みんなと学ぶ小学校国語四年上、みんなと学ぶ小学校国語四年下 みんなと学ぶ小学校国語五年上、みんなと学ぶ小学校国語五年下 みんなと学ぶ小学校国語六年上、みんなと学ぶ小学校国語六年下
取扱内容 各学年の目標、内容等	○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 友達に知らせたいことを紹介する活動やグループで話し合って考えを一つにまとめる活動を通して、相手に応じ、身近なことについて事柄の順序を考えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。 第3,4学年～ 司会を立て、中心をはっきりさせて計画的に話し合う活動や話し合っ て課題解決の方法を考える活動を通して、相手や目的に応じ、調べたこと などについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。 第5,6学年～ 話の構成を工夫して学校紹介をする活動やテーマを決めてパネルディス カッションをする活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことについ て的確に話したり、計画的に話し合ったりする。 ○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。 第1,2学年～ 洋服の着方について友達に説明する文章を書く活動や二つのものの違い を書き出したカードを基に文章を書く活動を通して、経験したことなどに ついて順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。 第3,4学年～ 学校の行事の案内状を書く活動や四コマまんがの内容を基に物語を書く 活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相 互の関係などに注意して書く。 第5,6学年～ 調べたことを表やグラフを使って分かりやすくまとめる活動や、効果的 な構成を考え、身近な話題から簡単な意見文を書く活動を通して、目的や 意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。 ○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。 第1,2学年～ 役割を決めて音読劇や人形劇をする活動や文章を読んで登場人物の行動 の理由を想像する活動を通して、場面の様子に気付いたり、想像を広げたり しながら読む。 第3,4学年～ 物語を読んで感想を述べ合う活動や様々な見方で本を選んで読書をする 活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考 えたりしながら読む。 第5,6学年～ 筆者の考えと根拠を確かめながら読み、自分の考えをはっきりさせる 活動や、伝記を読んでその人物の生き方を知り自分の生き方について考える 活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り 上げられている。 第1,2学年～ 語り口調や言い回しを感じながら昔話や神話を読む活動や、事物の内容 をくわしく表したり、事物を指し示したりする言葉があることに気付く活 動 第3,4学年～ リズムを感じ取りながら百人一首の短歌を音読して思い浮かべた風景に ついて話し合う活動や、日常使われている簡単な単語をローマ字で書いたり 読んだりする活動 第5,6学年～ 「枕草子」を読み、好きな季節について随筆を書く活動や、話し言葉と 書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたり する活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上 げられている。 第1,2学年～ 「国語のカギ」において、時間の順序を表す言葉に気を付けて読んだり、 声の大きさに気を付けて話したりすることについて振り返り、確かめるな ど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第3,4学年～ 「国語のカギ」において、インタビューの仕方について考えたり、取材 カードに書いてまとめたりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第5,6学年～ 「国語のカギ」において、司会を立てて話し合ったり、表やグラフを使 ってまとめて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的			

	・基本的な知識・技能の習得を図る活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、伝えたい事柄を考えて話す活動、第2学年で、話の順序を考えて、したこととその様子を報告する活動を取り扱うなど、2学年通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、見てきたことを基に中心に気を付けて書く活動、第4学年で、見てきたことの中心をまとめて報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、自分の経験を生かして随筆を書く活動、第6学年で、登場人物や物語の展開を設定して創作的な文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は22教材であり、総ページ数は262ページで、前回より約11パーセント増となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は21教材であり、総ページ数は292ページで、前回より約12パーセント増となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は20教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約5パーセント増となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は20教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は21教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約11パーセント増となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は338ページで、前回より約8パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 自分の宝物を発表し合う活動(第1学年)や手紙、案内状、依頼状、礼状、送付状を書く活動(第2～6学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「本と友達」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習のてびき」に読解プロセスを示したり(全学年)、「授業で使う言葉」で用語を調べることができるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に「保護者の方へ」を掲載し(全学年)、学習内容や身に付けることを保護者が理解することにより家庭学習につなげていくことができるようにしたり、書き文字に近い字形・字体になるようデザインした書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語135、国語136 国語235、国語236 国語335、国語336 国語435、国語436 国語535、国語536 国語635、国語636	しょうがくせいのかくご二年上、しょうがくせいのかくご二年下 小学生のかくご二年、小学生のかくご二年、学びを広げる二年 小学生のかくご三年、小学生のかくご三年、学びを広げる三年 小学生のかくご四年、小学生のかくご四年、学びを広げる四年 小学生のかくご五年、小学生のかくご五年、学びを広げる五年 小学生のかくご六年、小学生のかくご六年、学びを広げる六年
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ スピーチをする活動やコンテストに出す作品をグループで話し合っ て決める活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考 えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。 第3,4学年～ 観光ガイドとして南の島を説明する活動や安全についてクラスで話し合 う活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどについて筋道を立て て話したり、進行に沿って話し合ったりする。 第5,6学年～ 調べたことを資料を活用しながら報告する活動や理由を明確にして推薦 スピーチをする活動を通して、目的や意図に応じ、考えたことなどについ て的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりする。 ○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。 第1,2学年～ 学校でできるようになったことを家の人に伝えるために書く活動や観察 して分かったことを記録する文章を書く活動を通して、経験したことなど について順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。 第3,4学年～ クラスのことを調べ、報告する文章を書く活動や社会科見学の礼状を書 く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落 相互の関係などに注意して書く。 第5,6学年～ 構成を考えて見学レポートを書く活動や生活の中で体験したことを随筆 に書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて 書く。 ○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。 第1,2学年～ 帽子のはたらきについて説明する文章を読む活動や様子を思い浮かべな がら音読する活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりし ながら読む。 第3,4学年～ 食べ物に関する説明文を表にまとめながら読む活動や本を読んで心に残 った内容について紹介し合う活動を通して、目的に応じ、内容の中心をと らえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 第5,6学年～ 図とそれを説明している部分を比べながら読む活動や筆者が文章を通し て読者に伝えたかったことを話し合う活動を通して、目的に応じ、内容や 要旨をとらえながら読む。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取 り上げられている。 第1,2学年～ 神話を読んで面白いと思ったところを友達と話し合う活動や、似た意味 の言葉の中から場面の様子や自分の気持ちに合ったものを選び文を書く活 動 第3,4学年～ 故事成語の意味を調べて登場人物や場面を想像して物語を書く活動や、 日常使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活 動 第5,6学年～ 狂言を声に出して読み、せりふのやりとりから面白さを味わう活動や、 話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方 に慣れたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げ られている。 第1,2学年～ 「覚えておきましょう」において、順序に気を付けて話したり文章を読 み返して間違いを正したりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第3,4学年～ 「覚えておきましょう」において、進行に沿って話し合ったり段落相互 の関係に注意して書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第5,6学年～ 「覚えておきましょう」において、自分の意見と比べながら聞いたり文			

	章全体の構成の効果を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、昨日の出来事が伝わるように話す活動、第2学年で、夏休みの思い出を順序が分かるように話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、心の動きについてまとまりに気を付けて書く活動、第4学年で、お気に入りの場所について中心に気を付けて書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、自分の考えをもち計画的に話し合う活動、第6学年で、主張と根拠を明確にしてパネルディスカッションをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は260ページで、前回より約1パーセント減となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は254ページで、前回より約18パーセント減となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は11教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は278ページで、前回より約19パーセント減となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は11教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は278ページで、前回より約19パーセント減となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は294ページで、前回より約23パーセント減となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約21パーセント減となっている。
使用上の配慮等	○ 夏休みの思い出を友達に書いて伝える活動（第2学年）や社会科見学のお願いやお礼の手紙を書く活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書ガイド「わたしの本だな」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「～しよう（てびき）」に学び方を示したり（全学年）、別冊「学びを広げる」における「言葉のポケット」に学習のポイントを示したり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ すべての児童が国語の授業で使用する「小学生の国語」と国語科の授業だけでなく他教科の学習等においても活用できる「学びを広げる」の2分冊構成にし（第2～6学年）、個に応じた学習に対応できるようにしたり、書き文字に近い字形・字体になるようデザインした書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語137、国語138 国語237、国語238 国語337、国語338 国語437、国語438 国語537、国語538 国語637、国語638	ひろがることばようがくこくご1上、ひろがることばようがくこくご1下 ひろがることば小学国語2上、ひろがることば小学国語2下 ひろがる言葉小学国語3上、ひろがる言葉小学国語3下 ひろがる言葉小学国語4上、ひろがる言葉小学国語4下 ひろがる言葉小学国語5上、ひろがる言葉小学国語5下 ひろがる言葉小学国語6上、ひろがる言葉小学国語6下
取扱内容	各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、			
	○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ メモを使って正確に伝える活動やグループで話し合って考えを一つにまとめる活動を通して、相手に応じ、身近なことについて事柄の順序を考えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。 第3,4学年～ 司会や提案、記録などの役割を決めて話し合う活動やポスターセッションをする活動を通して、相手や目的に応じ、考えたことや分かったことについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。 第5,6学年～ 伝える目的に応じた資料を用いて発表する活動やパネルディスカッションをする活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことについての確に話したり、計画的に話し合ったりする。 ○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ メモを基に見付けたことを書く活動や町探検で見付けたことを報告する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。 第3,4学年～ 図鑑で調べた生き物について説明する文章を書く活動や不思議な事柄について資料を基に説明する文章を書く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように段落相互の関係などに注意して書く。 第5,6学年～ 自分の立場を決め、考えとその根拠を結び付けて書く活動や目的に応じて割り付けを工夫して「学校案内パンフレット」を書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。 ○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 本を読んで好きな場面を決めて音読する活動や生き物が大きくなるまでの様子についてカードにまとめながら読む活動を通して、想像を広げたり、事柄の順序に気付いたりしながら読む。 第3,4学年～ 詩の様子が伝わるように工夫して音読する活動や紹介したい本を選び「読書発表会」をする活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 第5,6学年～ 印象に残った作品を推薦する「図書推薦会」を開く活動や伝記を読んで、その人物の生き方を知り自分の生き方について考える活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞いて面白いと思ったところや好きだと思ったところを音読して友だちに紹介する活動や、昔話の場面を紙人形を用いて楽しむ活動 第3,4学年～ ことわざ・慣用句・故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりしてカードにまとめる活動や身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動 第5,6学年～ 「春暁」「論語」などの漢文のリズムを感じ取りながら読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ コラム「ここが大事」において、声の大きさや速さに注意して話したり、登場人物の考えを想像したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第3,4学年～ コラム「ここが大事」において、登場人物の性格を考えながら読んだり、共通点と違う点を整理して話したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第5,6学年～ コラム「ここが大事」において、メモをとりながら質問や反論を聞いたり、言葉や文章を引用したりすることについて振り返り、確かめるなど、			

	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、夏休みの絵日記を見ながら質問し合う活動、第2学年で、おもちゃの作り方について順序に気を付けて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、見学したことの中心をはっきりとさせて報告文を書く活動、第4学年で、構成を工夫して報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、根拠となる資料を用いて自分の意見を書く活動、第6学年で、自分の意見や根拠を整理して意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は24教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は296ページで、前回より約7パーセント増となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は300ページで、前回より約1パーセント増となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は310ページで、前より約1パーセント増となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は308ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は328ページで、前回より約1パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 学級の友達に好きなことや得意なことを伝え合う活動（2学年）や気に入ったところを選んで音読劇をする活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材に関連のある図書を紹介した「本を読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の始めに「めあて」の欄を設けて目標を示したり（全学年）、「ここが大事」に学習のポイントを紹介したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に各教材の指導事項や学習に必要と思われる用語などをまとめた「この本で学ぶこと」を掲載し（全学年）、家庭学習や個に応じた学習に役立つようにしたり、色覚の個人差に配慮した色使いやレイアウトを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語139、国語140 国語239、国語240 国語339、国語340 国語439、国語440 国語539 国語639	こくご一上かざぐるま、こくご一下ともだち こくご二上たんぼ、こくご二下赤とんぼ 国語三上わかば、国語三下あおぞら 国語四上かがやき、国語四下はばたき 国語五銀河 国語六創造
取扱内容 各学年の目標、内容等	○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 身近な物についてクイズを出し合う活動やあったらいいものについて発表会をする活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさずに聞いたりする。 第3,4学年～ 資料から分かることを筋道を立てて発表する活動や聞き取りメモを工夫して説明を聞く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどについて筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。 第5,6学年～ 理由を明確にして推薦する活動や相手の意図を聞き取りながら学級討論会をする活動を通して、目的や意図に応じ、考えたことなどについての的確に話したり、計画的に話し合ったりする。 ○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 学校にいる生き物などについて家の人に知らせる文章を書く活動やおもちゃの作り方を説明する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。 第3,4学年～ 生活の中の疑問について本で調べ報告する文章を書く活動や取材した資料を効果的に使い新聞を作成する活動を通して、相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように段落相互の関係を考えて書く。 第5,6学年～ 写真を基に想像を広げ、表現を工夫して物語を書く活動や町のパンフレットを作成し、交流する活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。 ○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。 第1,2学年～ 自動車について説明した文章をノートにまとめながら読む活動や生き物が登場する文章を音読劇にしながら読む活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりしながら読む。 第3,4学年～ 登場人物と自分を比べて読む活動や、読んだ文章について心に残った場面を紹介する活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 第5,6学年～ 新聞を読み、編集の仕方や記事の書き方を考える活動や、これまでに読んだ本の中から心に残った本について紹介し合う活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。 ○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話を読んでおもしろいと思った内容について話し合う活動や、言葉には物事の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付く活動 第3,4学年～ リズムを感じ取りながら短歌を音読したり暗唱したりする活動や、日常生活で使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動 第5,6学年～ リズムを感じ取りながら「竹取物語」「枕草子」などの古文を音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に関心したりする活動 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ コラム「たいせつ」において、事柄の順序を考えて話したり、本を選んで読んだりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第3,4学年～ コラム「たいせつ」において、場面の様子が分かるように音読したり、段落相互の関係に注意して文章を構成したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動 第5,6学年～ コラム「たいせつ」において、要旨をとらえて読んだり、話し手の意図をとらえながら聞いたりすることについて振り返り、確かめるなど、			

	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動
内容の構成・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、体験したことや経験したことを話して伝える活動、第2学年で、伝えたいことや考えたことを順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、伝えたいことの内容の中心を意識して説明する文章を書く活動、第4学年で、内容の中心を明らかにして報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、説得力のある構成を工夫しスピーチをする活動、第6学年で、話し方や資料の提示の仕方などを工夫しスピーチをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は11教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は22教材であり、総ページ数は272ページで、前回より約6パーセント増となっている。 第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は276ページで、前回より約1パーセント増となっている。 第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は292ページで、前回より約1パーセント増となっている。 第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3パーセント増となっている。 第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約4パーセント増となっている。 第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約4パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 好きなものを学級で発表し合う活動（第2学年）や伝えたいことや相手を決めてパンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、本を読むことと日常生活との関連を示した「この本、読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習」に学習の進め方を示したり（第2～6学年）、「学習に用いる言葉」で用語を調べることができるようにしたり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末の付録「学習を広げよう」に補充的な学習や発展的な学習に活用できる資料を掲載する（第2～6学年）とともに第5学年及び第6学年を一冊の合本とし、児童自身が年間の学習を見通すことができるようにしたり、色による識別に頼ることなく形で識別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	